

# 平成26年度第1回教育研究評議会報

総務部総務課

日 時 平成26年4月22日（火） 14:00～ 15:50

- \* 審議に入る前に、学長から、琉球大学教育研究評議会規程第5条第3項に基づき、議長代行に西田副学長を指名する旨発言があった。
- \* 引き続き、学長から新構成員等の紹介、西川副学長から新理事務系幹部職員の紹介があった。

## 審議事項

### (1) ハラスメント事案に係る教員の懲戒処分の審査について

陪席者退席の上、外間副学長から、熱帯生物圏研究センターにおけるハラスメント事案に係る教員の懲戒処分の審査について、ハラスメント防止対策委員会として、本件は「国立大学法人琉球大学ハラスメント防止対策に関する指針」に基づくハラスメントに該当すると判断した旨学長へ報告し、それを受けて、学長から熱帯生物圏研究センター長に対して教授会での懲戒事由該当性について審議を依頼したところ、懲戒事由に該当するとの回答を得た旨の報告があり、また併せて、当該教員は4月末をもって退職予定である旨の説明があった。

引き続き、学長から、当該教員の懲戒処分に係る取扱いについて諮られ、審議の結果、本評議会のもとに調査委員会を設置し審査していくことが了承された。

また、調査委員会委員については、法文学部評議員、観光産業科学部長、教育学部評議員、理学部評議員、医学部評議員、工学部評議員、農学部長、観光科学研究科長の計8名にお願いしたい旨提案があり、了承された。

## 報告事項

### (1) 平成26年度第1回企画経営戦略会議について

学長から、平成26年度第1回企画経営戦略会議の審議結果について、報告があった。

### (2) 全学教員人事委員会の審議結果について

西田副学長から、第137回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

### (3) 国立大学法人琉球大学科学研究費助成事業等の応募資格に関する取扱要領の一部改正について

西田副学長から、国立大学法人琉球大学科学研究費助成事業等の応募資格に関する取扱要領の一部改正について、資料に基づき報告があった。

### (4) 琉球大学研究者データベースの運用管理規程について

西田副学長から、琉球大学研究者データベースの運用管理規程の制定について、資料に基づき報告があった。

### (5) 平成26年度入学者数について

富永副学長から、平成26年度入学者数について、資料に基づき報告があった。

### (6) 新入生オリエンテーションについて

学生課長から、新入生オリエンテーションについて、報告があった。

(7) 国立大学法人琉球大学産学官連携推進機構における連携協定について

- ・ コザ信用金庫との産学連携に係る協定
- ・ 沖縄銀行との連携に関する協定
- ・ 一般財団法人日本立地センターとの包括連携に関する協定

地域連携推進課長から、国立大学法人琉球大学産学官連携推進機構における連携協定について、資料に基づきそれぞれ報告があった。

(8) 琉球大学サテライトキャンパスの設置について

地域連携推進課長から、琉球大学サテライトキャンパスの設置について、資料に基づき報告があり、4月24日に宮古市、4月25日に石垣市で開所式が行われる旨発言があった。

(9) 監事の任命並びに学長補佐の指名について

学長から、監事の任命並びに学長補佐の指名について、資料に基づき報告があった。

(10) 顧問の委嘱について

学長から、顧問の委嘱について、資料に基づき報告があった。

(11) 平成26年度琉球大学入学式・大学院入学式について

総務課長から、平成26年度琉球大学入学式・大学院入学式の実施に当たり、教職員の協力に対し謝意が述べられた。

(12) 国立大学法人琉球大学と琉球大学生生活協同組合との間における災害時の協力等に関する協定について

総務課長から、国立大学法人琉球大学と琉球大学生生活協同組合との間における災害時の協力等に関する協定について、3月26日に締結した旨報告があった。

(13) 平成26年度各部局における男女共同参画推進への取組み及びポジティブ・アクション・プランの設定について

外間副学長から、平成26年度各部局における男女共同参画推進への取組み及びポジティブ・アクション・プランの設定について、資料に基づき報告があった。

引き続き、外間副学長から、6月開催の教育研究評議会の前に、男女共同参画トップセミナーを行う予定である旨発言があった。

(14) その他

① 国立大学法人の第3期中期目標・中期計画の項目等について

西田副学長から、国立大学法人の第3期中期目標・中期計画の項目等について、資料に基づき報告があった。

② 教育研究評議会懇親会について

学長から、5月27日に、事務職員を含めた評議員の懇親会を開催したい旨報告があった。

③ 学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律案について

山崎評議員から、学校教育法及び国立大学法人法の改正について質問があり、学長から、情報が入り次第、学内へ情報提供する旨発言があった。

## 平成26年度第2回教育研究評議会報

総務部総務課

日 時 平成26年5月27日(火) 14:00～15:50

\* 審議に入る前に、高良富夫評議員及び波平評議員から、前回評議会の審議事項(1)「ハラスメント事案に係る教員の懲戒処分 of 審査について」に関しての確認があった。

### 5. 審議事項

#### (1) 平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について

石原副学長から、平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について、資料に基づき説明があった。引き続き、今後の予定として、経営協議会の意見を聴取の上、自己点検・評価会議を経て、次回の評議会で審議、役員会に諮った後、6月末に文部科学省へ提出予定である旨説明があった。

また、意見等があれば企画評価戦略室まで連絡いただきたい旨発言があった。

#### (2) 国際医療拠点の形成について

学長から、国際医療拠点の形成について、現段階の構想について説明があり、意見を伺いたい旨提案があった。

引き続き、松下医学部長から経緯並びに構想内容について、資料に基づき説明があった。

山崎評議員から、敷地面積の確保、移転費用等について質問があり、西川副学長から、上原地区の全面移転であること、費用については、国や県、宜野湾市と経費支援について調整していく旨発言があった。

学長から、今後の経過については、本評議会で適宜報告する旨、また、本件については、現時点では学内外への公表を控えてほしい旨発言があった。

### 6. 報告事項

#### (1) 平成26年度第2回企画経営戦略会議について

学長から、平成26年度第2回企画経営戦略会議の審議結果について、報告があった。

#### (2) 全学教員人事委員会の審議結果について

西田副学長から、第138回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

#### (3) 平成25年度卒業生の進路状況について

富永副学長から、平成25年度卒業生の進路状況について、資料に基づき報告があった。

#### (4) 一般社団法人大学コンソーシアム沖縄の設立について

学術国際部長から、一般社団法人大学コンソーシアム沖縄の設立について、資料に基づき報告があった。

#### (5) 琉球大学サテライトキャンパス(宮古島キャンパス・石垣キャンパス)開設式典について

地域連携推進課長から、琉球大学サテライトキャンパス(宮古島キャンパス・石垣キャンパス)開設式典について、資料に基づき報告があった。また、6月1日に開催される那覇キャンパス開設式典について、各部局等への周知及び参加への協力依頼があった。

- (6)平成26年度東日本大震災被災者に係る入学料・授業料免除の方針について  
学生部長から、平成26年度東日本大震災被災者に係る入学料・授業料免除の方針について、資料に基づき報告があった。
- (7)琉球大学生生活協同組合中央食堂1階ホールの利用時間延長について  
学生部長から、琉球大学生生活協同組合中央食堂1階ホールの利用時間延長について、資料に基づき報告があり、各部局等への周知依頼があった。
- (8)2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における大学との連携に関する協定の締結について  
総務課長から、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における大学との連携に関する協定の締結について、資料に基づき報告があった。
- (9)第77回・第78回琉大21世紀フォーラムについて  
外間副学長から、第77回・第78回琉大21世紀フォーラムについて、資料に基づき報告があり、各部局等への周知依頼があった。
- (10)第4回「男女共同参画トップセミナー」の開催について  
外間副学長から、第4回男女共同参画トップセミナーの開催について、資料に基づき報告があり、部局長及び評議員に参加いただきたい旨発言があった。
- (11)その他
- ① 消費税率の引上げに伴う消費税の円滑かつ適正な転嫁に係る学内周知の徹底について  
財務部長から、消費税率の引上げに伴う消費税の円滑かつ適正な転嫁に係る学内周知の徹底について、要請があった。
- ② 教育研究評議会懇親会について  
学長から、教育研究評議会懇親会の開催について案内があった。

## 平成26年度第3回教育研究評議会報

総務部総務課

日 時 平成26年6月24日（火） 15:00～ 17:45

### 審議事項

(1)平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

石原副学長から、平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について、資料に基づき説明があった。引き続き、今後の予定として、自己点検・評価会議を経て、役員会に諮った後、6月末に文部科学省へ提出予定である旨説明があった。

また、意見等があれば企画評価戦略室まで連絡いただきたい旨発言があった。

(2)国立大学法人琉球大学防火・防災管理規則の制定について

総務課長から、国立大学法人琉球大学防火・防災管理規則の制定について、資料に基づき説明があり、本件は次回までの継続審議とし、各部局等から意見等を提出してほしい旨発言があった。

(3)琉球大学法文学部とハンブルク大学人文学部アジア・アフリカ研究所（ドイツ）との部局間交流協定等の締結について

国際課長から、琉球大学法文学部とハンブルク大学人文学部アジア・アフリカ研究所（ドイツ）との部局間交流協定等の締結について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(4)その他

① 熱帯生物圏研究センター元教員によるハラスメントに関する調査委員会からの報告等について

陪席者退席の上、川本調査委員会委員長から、熱帯生物圏研究センター元教員によるハラスメントに関する調査報告書について、資料に基づき報告があり、元教員が申立人に対して行った言動・行為等は、「国立大学法人琉球大学ハラスメント防止対策に関する指針」に規定されたハラスメントの定義に該当し、かつ、国立大学法人琉球大学職員就業規則第54条に定める懲戒事由のうち、第8号の「ハラスメントによる人権侵害に該当する行為があった場合」に該当すると判断した旨説明があった。

審議に当たって、評議員から主に以下のような発言があった。

・所属部局長は辞表を受理せずにとどめるべきだったのではないかな。

・ハラスメントは職場環境の問題であり、センター長には監督責任が生じるのではないかな。監督責任について言及しないと、大学のハラスメント防止の立場として明確にならないのではないかな。

・辞表を受理しないというのは、基本的人権の職業選択の自由等に関わってくるので、基本的にはできないのではないかな。

・本件では、被申立人が退職していることから、在職中にそういう規則に違反した行為があったかどうか、あったとすれば、それが一番重い懲戒解雇に該当するものであったかどうかということを判定しなければならない。一番重い懲戒解雇に相当するときは、「国立大学法人琉球大学職員退職手当規程」に基づき、退職金を支払わないということになり、そうでなければ、速やかに支払うべきである。

審議の結果、同調査報告書を了承した。

報告を受けて、学長から審査説明書作成委員会を設置することについて提案があり、審議の結果、委員会の設置が了承された。引き続き、外間副学長から、審査説明書作成委員会は、教育学部長、理学部長、農学部評議員、法務研究科長、附属図書館長及び大学教育センター長で構成したい旨発言があり、併せて了承された。

## 報告事項

(1) 平成26年度第3回企画経営戦略会議について

学長から、平成26年度第3回企画経営戦略会議の審議結果について、報告があった。

(2) 琉球大学組織規則の一部改正について

総務課長から、琉球大学組織規則の一部改正について、資料に基づき報告があった。

山崎評議員から、軽微な事務組織の規則改正ではないので、事務組織の再編にあたっては、各学部等にも意見を募る期間が必要だったのではないかと。今後、国立大学法人法及び学校教育法の改正に伴う学内規則の整備が必要となるので、タイミング的なことも考えてもよかったのではないかと意見があった。

(3) 全学教員人事委員会の審議結果について

西田副学長から、第139回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(4) 琉球大学サテライトキャンパス（那覇キャンパス）開設式典について

学術国際部長から、琉球大学サテライトキャンパス（那覇キャンパス）開設式典について、資料に基づき報告があった。

(5) 第79回琉大21世紀フォーラムについて

学術国際部長から、第79回琉大21世紀フォーラムについて、資料に基づき報告があり、各部局等への周知依頼があった。

(6) 経営協議会の審議結果について

学長から、6月18日に開催された経営協議会の審議結果及び経営協議会委員からの意見等について、資料に基づき報告があった。

(7) その他

① 国大協総会について

学長から、6月16日に開催された国大協総会について、資料に基づき報告があった。

## 平成26年度第4回教育研究評議会報

総務部総務課

日 時 平成26年7月29日（火） 14:00～ 16:40

### 審議事項

#### (1) 琉球大学の改革の方向性について

学長から、7月22日開催の企画経営戦略会議、7月23日開催の役員会での議論などを踏まえて、琉球大学の改革の方向性について、資料に基づき説明があった。今後、各部局等からの意見を伺いつつ、必要な修正等を行い、取りまとめていきたい旨発言があった。

松下評議員から、教員の評価やフィードバック、PDCAサイクルを明確にするための書き込みが必要なのではないか、高良富夫評議員から、資料中のカタカナ語等をもっとわかりやすい表現に改めた方が良いのではないかと意見があった。

#### (2) 琉球大学学則の一部改正（案）について

総務課長から、琉球大学学則の一部改正（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

#### (3) 国立大学法人琉球大学防火・防災管理規則の制定について

総務課長から、国立大学法人琉球大学防火・防災管理規則の制定について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

#### (4) 教員の休職について

人事課長から、教員の休職について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

#### (5) その他

##### ① 熱帯生物圏研究センターの元教員によるハラスメントに関する審査説明書作成委員会からの報告について

陪席者退席の上、渡名喜審査説明書作成委員会委員長から、熱帯生物圏研究センター元教員によるハラスメントに関する「審査説明書」報告書（案）について、資料に基づき報告があった。

審議の結果、本件事案における被申立人の在職中の非違行為については、退職手当の不支給処分を伴う懲戒解雇処分に値するほどの重大な背信行為とは断定できないとする審査説明書作成委員会の判断を認め、元教員に退職手当を支給することが了承された。

なお、熱帯生物圏研究センター長から、再発防止について対策を検討している旨発言があった。

### 報告事項

#### (1) 平成25年度監事監査意見書について

学長から、平成25年度監事監査意見書について、資料に基づき報告があった。

#### (2) 平成26年度第4回企画経営戦略会議について

学長から、平成26年度第4回企画経営戦略会議の協議結果について、報告があった。

#### (3) I R推進室の設置について

石原副学長から、I R推進室の設置について、資料に基づき報告があった。

(4)平成27年度概算要求事項について

西川副学長から、文部科学省へ提出した平成27年度概算要求事項について、資料に基づき報告があった。

(5)台風の来襲の場合における職員の労働及び休暇の取扱いについて

西川副学長から、台風の来襲の場合における職員の労働及び休暇の取扱いについて、報告があった。

山崎評議員から、台風が来襲し、特別警報が発令された場合の学生のケアについて留意していただきたいこと、また、台風の際に公式HPが閲覧できず、学生が情報を得られないので、その場合の代替案を検討いただきたい旨発言があった。

(6)学生援護会寄附金（7月期）の募集について

富永副学長から、琉球大学学生援護会寄附金（7月期）の募集について、各部局等へ周知依頼があった。

(7)名誉博士の称号授与について

外間副学長から、名誉博士の称号授与について、資料に基づき報告があった。

(8)第1回琉球大学ホームカミングデーについて

総務課長から、第1回琉球大学ホームカミングデーの開催について、資料に基づき報告があり、各部局等への周知依頼があった。

(9)その他

① 国立大学法人学長・大学共同利用機関法人機構長等会議

学長から、7月24日に開催された国立大学法人学長・大学共同利用機関法人機構長等会議について、報告があった。

## 平成26年度第5回教育研究評議会報

総務部総務課

日 時 平成26年9月30日(火) 14:00～15:40

### 審議事項

- (1) 医学部の入学定員増員計画について  
西田副学長から、医学部の入学定員増員計画について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
- (2) 附属図書館長の選考について  
学長から、現附属図書館長の任期が平成26年10月31日で満了することに伴い、次期図書館長候補者として、花城梨枝子教育学部教授を推薦したい旨の提案があり、審議の結果、原案どおり了承された。  
なお、任期については、前年度に改正した「琉球大学部局長選考規程」に則り、平成28年3月31日までとすることが確認された。

### 報告事項

- (1) 平成26年度第6回企画経営戦略会議について  
学長から、平成26年度第6回企画経営戦略会議の協議結果について、報告があった。
- (2) 全学教員人事委員会の審議結果について  
西田副学長から、第140回、第141回及び第142回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。
- (3) 平成26年人事院勧告について  
人事課長から、平成26年人事院勧告について、資料に基づき報告があった。
- (4) 平成27年度概算要求について  
財務部長から、文部科学省から財務省へ提出された平成27年度概算要求事項について、琉球大学に係る内容を中心に、資料に基づき報告があった。
- (5) 「学長のリーダーシップの発揮」を更に高めるための特別措置枠について  
財務部長から、「学長のリーダーシップの発揮」を更に高めるための特別措置枠について、予算配分があった旨、資料に基づき報告があった。
- (6) 琉球大学と自治体等との包括連携協定について
  - ① 琉球大学、西原町及び西原町商工会との包括連携協定について
  - ② 奄美群島事務組合と琉球大学との包括連携協定について
  - ③ 琉球大学産学官連携推進機構と琉球銀行との産学連携の協力について総合企画戦略部長から、琉球大学と自治体等との包括連携協定について、資料に基づき、それぞれ報告があった。
- (7) 「琉球大学暴風警報及び気象等に関する特別警報発表に伴う授業及び期末試験の取扱いに関する申合せ」の制定について  
教務課長から、「琉球大学暴風警報及び気象等に関する特別警報発表に伴う授業及び期末試験の取扱いに関する申合せ」の制定について、資料に基づき報告があった。
- (8) 「台風の来襲の場合における職員の労働及び休暇の取扱について」等の一部改正について  
総務部長から、「台風の来襲の場合における職員の労働及び休暇の取扱について」等の一部改正について、資料に基づき報告があった。

(9) 学長表彰について

富永副学長から、理工学研究科の学生4名（平成26年度9月修了）を学長表彰した旨、資料に基づき報告があった。

(10) 琉大祭の実施について

富永副学長から、9月27日・28日に開催された第63回琉大祭の実施状況について、資料に基づき報告があった。

(11) 共通教育等科目のプロフェッサー・オブ・ザ・イヤー（平成25年度）の受賞者について

富永副学長から、共通教育等科目のプロフェッサー・オブ・ザ・イヤー（平成25年度）受賞者について、資料に基づき報告があった。

(12) 第1回琉球大学ホームカミングデーの実施について

総務課長から、9月27日に開催された第1回琉球大学ホームカミングデーの実施状況について、報告があった。

(13) 第80回琉大21世紀フォーラム特別企画について

外間副学長から、9月29日に開催された第80回琉大21世紀フォーラム特別企画の実施状況について、資料に基づき報告があった。

(14) その他

① 南米（ペルー・ブラジル）出張の報告について

学長から、8月16日から25日までの南米出張について、報告があった。

② 国大協九州地区支部会議について

学長から、9月26日に開催された国大協九州地区支部会議について、報告があった。

報告の後、山崎評議員から、年俸制の導入に関する本学での取組状況について質疑があり、学長から、現在、年俸制導入検討ワーキンググループで検討中である旨発言があり、引き続き、人事課長から補足説明があった。

また、山崎評議員から、各大学の動向等の情報も得ながら、なるべく早く検討を進めていただきたい旨発言があった。

③ 津梁カレッジについて

山崎評議員から、津梁カレッジの設置について質問があり、学長から、まだ具体的な構想を示す段階まで至っていないが、教育担当理事のもとで、第三期中期計画との関係で検討した後、教育研究評議会に諮りたいと考えている旨発言があった。

④ スーパーグローバル大学支援事業の総括について

福島評議員から、スーパーグローバル大学支援事業について、本学が不採択であったことに関し総括が必要ではないかとの意見があり、学長から、これまでの国際化に関するプロジェクトの積み重ねや組織整備等が足りなかったのではないかなど等の要因が挙げられること、また、外間副学長から、文部科学省から不採択の理由の通知が届き次第、きちんと総括したい旨発言があった。

# 平成26年度第6回教育研究評議会報

総務部総務課

日 時 平成26年10月21日（火） 14:00～15:35

## 審議事項

- (1) 琉球大学学則の一部改正（案）について  
総務課長から、琉球大学学則の一部改正（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
- (2) 学長選考会議の委員について  
総務課長から、学長選考会議委員（教育研究評議会代表）の選出について、資料に基づき説明があり、審議の結果、申合せどおり、教育研究評議会から選出される7人の学長選考会議委員を7学部長とすることです承された。

## 報告事項

- (1) 平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について  
石原副学長から、平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について、資料に基づき報告があった。特に、課題として挙げられている事項として、寄附金の個人経理及び個人情報の漏洩については本年度中に対応する必要がある旨確認がなされた。
- (2) 平成26年度第7回企画経営戦略会議について  
学長から、平成26年度第7回企画経営戦略会議の協議結果について、報告があった。
- (3) 研究推進機構の設置について  
西田副学長から、研究推進機構の設置について、資料に基づき報告があった。  
山崎評議員から、企画経営戦略会議で協議の上、役員会で設置を決定しているが、教育研究に関わる組織の設置であるため、教育研究評議会でも議論すべきだったのではないかとの発言があった。
- (4) 大学ポートレートに関する本学の対応について  
石原副学長から、大学ポートレートに関する本学の対応について、資料に基づき報告があった。  
高良富夫評議員から、大学ポートレートに提供する情報について確認があり、石原副学長から、学校教育法施行規則で定められている教育情報の公表で求められている全ての情報を提供するものではない旨説明があり、引き続き、経営戦略課長から補足説明があった。
- (5) 研究活動における不正行為への対応等に関するガイドラインの対応について  
西田副学長から、研究活動における不正行為への対応等に関するガイドラインの対応について、資料に基づき報告があった。  
山崎評議員から、本学で未対応の事項について質問があり、研究推進課長から、関係規程の整備が必要である旨説明があった。  
小田切評議員及び山崎評議員から、就業規則の見直し・改正等が必要ではないかとの発言があり、人事課長から懲戒等規程見直しワーキンググループにおいて検討中である旨発言があった。

- (6)平成26年度地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域資源活用ネットワーク構築事業（地域資源活用先進事例共有事業））採択について  
総合企画戦略部長から、平成26年度地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域資源活用ネットワーク構築事業（地域資源活用先進事例共有事業））採択について、資料に基づき、報告があった。  
高良富夫評議員から、琉球大学が提供するシーズについて質問があり、総合企画戦略部長から、植物資源分野に限らず、広くシーズを募集したい旨発言があった。
- (7)頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラムの採択について  
国際連携推進課長から、頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラムの採択について、資料に基づき報告があった。
- (8)学生援護会への寄附状況について  
学生課長から、学生援護会への寄附状況について、資料に基づき報告があり、寄附への謝意が述べられた。
- (9)JAXA宇宙飛行士 若田光一ミッション報告会について  
総合企画戦略部長から、JAXA宇宙飛行士 若田光一ミッション報告会について、資料に基づき、報告があり、各部局等への周知依頼があった。
- (10)一般社団法人大学コンソーシアム沖縄設立について  
総合企画戦略部長から、一般社団法人大学コンソーシアム沖縄の設立について、資料に基づき報告があった。
- (11)経営協議会の審議結果について  
学長から、10月6日に開催された経営協議会の審議結果及び経営協議会委員からの意見等について、資料に基づき報告があった。
- (12)その他  
①平成26年度科学研究費助成事業等の状況について  
西田副学長から、平成26年度科学研究費助成事業等の本学の採択状況について、資料に基づき報告があり、後日、改めて、詳細な分析等を踏まえた報告を行う予定である旨発言があった。  
②任期満了に伴う委員の紹介  
学長から、附属図書館長の伊澤雅子教授が10月31日付けで任期満了することに伴い、これまでの尽力に対し、謝辞が述べられた。

## 平成26年度第7回教育研究評議会報

総務部総務課

日 時 平成26年11月25日(火) 14:00～16:00

### 審議事項

- (1) 琉球大学留学生センターと慶熙大学校外国語大学（韓国）との部局間交流協定の締結について  
国際連携推進課長から、琉球大学留学生センターと慶熙大学校外国語大学（韓国）との部局間交流協定の締結について、資料に基づき説明があった。  
浜崎評議員及び高良倉成評議員から、交流計画の対応組織等について質疑があり、審議の結果、継続審議となった。

### 報告事項

- (1) 平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果について  
石原副学長から、平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果について、資料に基づき報告があった。また、課題として指摘された「教員等個人宛ての寄附金についての適正な処理」及び「個人情報保護に関するリスクマネジメントに対する積極的な取組」の2点について、今年度中に担当部局を中心とした改善取組の確実な実施が必須である旨、説明があった。
- (2) 医学部収容定員の増加について  
西田副学長から、平成27年度からの医学部医学科の入学定員増について、資料に基づき報告があった。
- (3) 平成26年度第8回企画経営戦略会議について  
学長から、平成26年度第8回企画経営戦略会議の協議結果について、報告があった。  
高良富夫評議員及び小田切評議員から、学校教育法の改正に係る学内規則の見直しのプロセスについて確認があった。総務課長から、各学部からの意見を聴取後、12月開催の企画経営戦略会議及び教育研究評議会で審議し、各教授会での議論を踏まえ、1月に再度審議する旨説明があった。  
波平評議員から、改正へのプロセスがきちんと見えるようにしてほしい旨の意見、松下評議員から、学内規則の改正後に各学部は学部規則を整備しなければならないため、早めに決定していただきたい旨発言があった。
- (4) 全学教員人事委員会の審議結果について  
西田副学長から、第143回及び第144回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。
- (5) 平成26年度科学研究費助成事業採択状況について  
西田副学長から、平成26年度科学研究費助成事業等の採択状況について、資料に基づき報告があった。  
山崎評議員から、科研費獲得の増に向けて、結果をより詳細に分析し、方針を立てていただきたい旨発言があった。  
西田副学長から、1月から研究推進機構を設置して分析能力を上げていき、より詳細な報告をしたい旨発言があった。
- (6) トビタテ！留学 JAPAN について  
地域連携推進課長から、沖縄版トビタテ！留学 JAPAN について、資料に基づき報告があり、引き続き、学長から、沖縄産学官協働人材育成円卓会議から申請するにあたって、経済界へ協力依頼をしている旨報告があった。

- (7)平成27年度夏季一斉休業の実施について  
西川副学長から、平成27年度夏季一斉休業の実施について、資料に基づき報告があった。
- (8)学生援護会寄附金（12月期）の募集について  
富永副学長から、琉球大学学生援護会寄附金（12月期）の募集について、各部局等へ周知依頼があった。
- (9)キャンパスバス実証実験等について  
①沖縄県キャンパスバス実証実験の実施について  
総務課長から、沖縄県からのキャンパスバスの実証実験協力依頼について、資料に基づき報告があった。引き続き、本件については、琉球大学環境・施設マネジメント委員会へ報告後、役員会で承認済みであり、実証実験に際しては、仮バス停の設置場所など安全面に配慮する観点から、学内関係部署と沖縄県側と十分調整を行い、実証実験に協力する旨報告があった。  
②中城村コミュニティバス実証運行について  
総務課長から、本学教育学部附属小・中学校の児童生徒及び学生の通学並びに地域住民の交通手段の確保を目的として、本学構内にコミュニティバスの実証運行と仮バス停を設置してほしい旨の中城村からの協力依頼について、資料に基づき説明があった。引き続き、本件については、琉球大学環境・施設マネジメント委員会へ報告後、役員会で承認済みであり、実証運行に協力する旨報告があった。
- (10)「男女共同参画シンポジウム2014」の開催について  
外間副学長から、「男女共同参画シンポジウム2014」の開催について、資料に基づき報告があり、各部局等への周知依頼があった。
- (11)大学コンソーシアム沖縄シンポジウムの開催について  
地域連携推進課長から、大学コンソーシアム沖縄シンポジウムの開催について、資料に基づき報告があり、各部局等への周知依頼があった。
- (12)年末・年始の日程について  
総務課長から、年末・年始の日程について、資料に基づき報告があり、1月5日の学長年頭あいさつ及び新年賀詞交歓会への参加の依頼があった。
- (13)その他  
①国大協総会について  
学長から、11月7日に開催された国大協総会について、報告があった。  
②顧問の講演会について  
学長から、12月19日の顧問会議の開催に関連し、顧問を講師に招いた講演会を開催する旨報告があり、引き続き、総合企画戦略部長及び総務課長から、産学連携及び大学改革に関する内容でそれぞれ講演会を行う旨の説明があった。  
③地域資源活用ネットワーク構築事業（地域資源活用先進事例共有事業）に関する研究シーズの提供について  
総合企画戦略部長から、地域資源活用ネットワーク構築事業（地域資源活用先進事例共有事業）に係る研究シーズの評価について、学内から40件の応募があった旨報告があり、協力への謝意が述べられた。

## 平成26年度第8回教育研究評議会報

総務部総務課

日 時 平成26年12月16日（火） 14:00～18:45

\* 審議に入る前に、高良富夫評議員から、学校教育法等の改正に係る学内規則の見直しの審議日程について質問があり、平良総務課長から、今回は各学部からの意見等に対する回答のみを行い、次回以降に審議する旨発言があった。

### 審議事項

#### (1) 琉球大学学則の一部改正（案）について

平良総務課長から、琉球大学学則の一部改正（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

#### (2) 琉球大学教育研究評議会規程の一部改正（案）について

平良総務課長から、琉球大学教育研究評議会規程の一部改正（案）について、資料に基づき説明があった。

山崎評議員及び高良倉成評議員から、評議員となる副学長の人数は明記すべきではないかとの意見があり、審議の結果、継続審議となった。

#### (3) 学校教育法の改正に伴う教員人事に関する手続き等について

##### ① 琉球大学全学教員人事委員会規程の一部改正（案）について

##### ② 琉球大学教員人事学長諮問委員会規程の制定案について

##### ③ 国立大学法人琉球大学教員選考通則の制定案について

##### ④ 国立大学法人琉球大学教員選考基準の一部改正（案）について

##### ⑤ 国立大学法人琉球大学教員就業規程の一部改正（案）について

西田副学長から、学校教育法の改正に伴う教員人事に関する手続き等について、それぞれ資料に基づき、選考手続きや関係規程等の改正案等について説明があった。

引き続き、学長から、本件については、各部局等からの意見も踏まえ、検討を継続し、1月の評議会で決定したい旨発言があった。

高良富夫評議員から、教員の選考には各分野の専門性が重要であることを考慮いただきたい旨発言があった。

また、渡名喜評議員から、全学教員人事委員会規程の改正案について、今回の学校教育法改正では、学長のリーダーシップの強化と同時に副学長の役割重視も趣旨となっていることを考慮しても良いのではないかとの発言があった。

#### (4) 国立大学法人琉球大学職員懲戒等規程の制定等について

##### ① 国立大学法人琉球大学職員就業規則の一部改正（案）について

##### ② 国立大学法人琉球大学非常勤職員就業規則の一部改正（案）について

##### ③ 国立大学法人琉球大学職員懲戒等規程の制定（案）について

##### ④ 国立大学法人琉球大学職員懲戒処分の指針の制定（案）について

吉崎懲戒規程見直しワーキング・グループ委員会委員長から、国立大学法人琉球大学職員懲戒等規程の制定等について、それぞれ資料に基づき説明があった。

引き続き、学長から、本件については、各部局等からの意見も踏まえ、学校教育法の改正に係る学内規則の見直しとの整合性もはかりつつ、2月の評議会で決定したい旨発言があった。

波平評議員から、本件は、労働条件に関わることなので、労使交渉が必要なのではないか、また、今回の改正では懲戒手続きの迅速性という側面は理解できるが、客観性・独立性が保たれているのかという観点からも考えるべきではないかとの意見があった。

山崎評議員から、職員懲戒処分の指針について、もう少しパターンが多い方が良いのではないか、監督責任については運用が難しいのではないか、また、大学法人としての懲戒の判断が妥当かどうかを判断する第三者機関を設置できないかとの意見があった。

(5) 平成27年度学年暦（案）について

平良教務課長から平成27年度学年暦（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(6) 琉球大学留学生センターと慶熙大学校外国語大学（韓国）との部局間交流協定の締結について

外間副学長から、琉球大学留学生センターと慶熙大学校外国語大学（韓国）との部局間交流協定の締結について、前回の評議会での意見を踏まえて修正した資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(7) 琉球大学とグアム大学との学生交流協定の締結について

安倍国際連携推進課長から、琉球大学とグアム大学との学生交流協定の締結について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(8) 琉球大学とハワイ大学カウアイコミュニティカレッジとの学生交流協定の締結について

安倍国際連携推進課長から、琉球大学とハワイ大学カウアイコミュニティカレッジとの学生交流協定の締結について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(9) 学生の懲戒処分について

陪席者退席の上、富永副学長から、学生の懲戒処分案に関する学生生活委員会での審議結果について、資料に基づき説明があった。

続いて、学生所属学部の評議員から、補足説明があった。

審議の結果、投票により、出席評議員の過半数以上の同意を得られたことから、学生所属の学部教授会からの申請のとおり当該学生の懲戒処分が了承された。

## 報告事項

(1) 学校教育法等の改正に伴う学内規則の見直しについて

平良総務課長から、学校教育法等の改正に伴う学内規則の見直しに関する各学部からの意見等に対する回答について、資料に基づき説明があった。

山崎評議員から、今回の法改正に伴う一連の学内規則の改正については、法律の趣旨に則った最小限のものとするのか、ガバナンス改革に伴った変化のあるものにするのかとの質問があり、学長から、法律の改正によって見直すべき事項を見直すこととしたい旨発言があった。

(2) 平成26年度第9回企画経営戦略会議について

学長から、平成26年度第9回企画経営戦略会議の協議結果について、報告があった。

(3) 全学教員人事委員会の審議結果について

西田副学長から、第145回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(4) 平成27年度予算編成方針について

西川副学長から、平成27年度予算編成方針について、資料に基づき報告があった。

(5) 特別入試について

富永副学長から、特別入試の実施状況について、資料に基づき報告があった。

(6)教員活動評価に関するアンケート結果について

石原副学長から、教員活動評価に関するアンケート結果について、資料に基づき報告があった。

(7)経営協議会の審議結果について

学長から、12月8日に開催された経営協議会の審議結果及び経営協議会委員からの意見等について、資料に基づき報告があった。

(8)その他

①労使協定の締結について

小田切評議員から、千原事業場において、現在36協定が締結されておらず、1月に実施されるセンター試験の協力職員の出勤について、「4週間単位の変形労働時間制」の適用が行えない状況にあり、早い段階で労使協定を締結できるようにしていただきたい旨発言があった。

## 平成26年度第9回教育研究評議会報

総務部総務課

日 時 平成27年1月27日（火） 14:00～17:30

### 審議事項

#### (1) 中期計画の変更について

西田副学長から、中期計画の変更について、資料に基づき説明があった。

引き続き、西田副学長から、本件については経営協議会で承認済みであり、本評議会です承されれば、役員会で決定後、文部科学省へ申請する旨発言があった。

審議の結果、原案どおり了承された。

#### (2) 琉球大学教育研究評議会規程の一部改正（案）について

平良総務課長から、琉球大学教育研究評議会規程の一部改正（案）について、資料に基づき説明があり、九州地区の他大学の状況についての報告があった。

引き続き、学長から、本件の改正の趣旨は、学長の命を受けて教育研究に関する重要事項に関する校務をつかさどる総括副学長を置く場合には、当該副学長を評議員に加えるというものだが、当面は総括副学長を置く予定はなく、また、法律改正の趣旨として、評議員となる人数を決めるものではない旨発言があった。

山崎評議員から、現時点の改正では評議員に加わる人数を明記し、必要に応じて改正してもいいのではないか、浜崎評議員から、学部からは評議員の構成比に対する懸念がある旨発言があった。

平良総務課長から、内規等で、評議員となる副学長の人数を別途定めることもできる旨発言があった。

審議の結果、継続審議となった。

#### (3) 琉球大学教授会通則の制定（案）について

平良総務課長から、琉球大学教授会通則の制定（案）について、資料に基づき説明があった。また、学部等からの意見を受け、第3条第2項(2)の学生の編入学について、特別編入学を除くことで修正する旨発言があった。

小田切評議員及び波平評議員から、第3条第1項に第2項に規定されている1～5号を加えるべきはないかとの意見があり、平良総務課長から、現時点では1号のみ第1項に加える予定である旨回答があった。

高良富夫評議員から、第3条第2項も教授会で審議することは可能と考えられるが、第1項と第2項の違いを明確にしてほしい旨発言があった。平良総務課長から、法律上、教授会に審議を義務づけているのが第1項であり、第2項は法律上の義務ではないが、教授会で審議し、決議を学長に意見することができるものである旨説明があった。

山崎評議員から、学長の方針について確認があり、学長から、教授会については、従来どおり大学の必置機関であり、これまで教授会で審議してきたことを踏まえながら、学校教育法の改正に則り、必要な改正を行っていく旨発言があった。

審議の結果、今回議論の内容及び各学部の意見を反映した修正案を資料として、各学部にも再度意見を照会の上、2月の評議会でも継続審議することとなった。

#### (4) 琉球大学教授会通則第3条第1項第3号の「学長が定めるもの」について（案）について

平良総務課長から、琉球大学教授会通則第3条第1項第3号の「学長が定めるもの」について（案）について、資料に基づき説明があった。また、学部等からの意見を受け、第1（1）に学部の新設改廃を追加する旨発言があった。

審議の結果、議題(3)と併せて、審議の結果、今回議論の内容及び各学部の意見を反映した修正案を資料として、各学部にも再度意見を照会の上、2月の評議会でも継続審議することとなった。

(5) 琉球大学部局長選考規程の全部改正（案）について

平良総務課長等から、琉球大学部局長選考規程の全部改正（案）について、資料に基づき説明があり、本件については、今回の審議も踏まえ、2月の評議会で決定したい旨発言があった。

高良富夫評議員から、第7条は削除していいのではないかと、第5条第5項の「学長は、特に必要があると認めるときは、部局長等を指名することができる」という文言について、「学部新設等」というように状況を限定すべきではないかと、小田切評議員から、第8条第1項について、学部長の推薦基準や方法まで規定する必要があるのかとの意見があった。

山崎評議員から、学長の方針について確認があり、学長から、学外から部局長を指名することは可能性としてあるだろうが、おそらく学部の運営という面が難しいと考えている旨発言があった。

波平評議員から、学部から1名推薦するとし、学長が差し戻せると規定した方が合理的ではないかと、また、規定の改正に対する検討状況が不明である旨発言があった。

学長から、専門家の意見を取り入れていないという指摘があるが、法務研究科からの意見をいただいている、大学として、法律違反の状態におくことはできないので、法改正の趣旨に則って、学内規定を整備していかなければならない旨発言があった。

## 報告事項

(1) 平成26年度第10回企画経営戦略会議について

学長から、平成26年度第10回企画経営戦略会議の協議結果について、報告があった。

(2) 全学教員人事委員会の審議結果について

西田副学長から、第146回、第147回及び第148回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(3) 教育研究組織の評価単位に関する意向調査について

石原副学長から、教育研究組織の評価単位に関する意向調査について、資料に基づき報告があった。

(4) 平成27年度教員活動評価について

石原副学長から、平成27年度教員活動評価について、資料に基づき報告があった。

引き続き、石原副学長から、自己点検評価の公表は提出者の意向に基づくが、提出は義務であり、可能な限り、部局長は提出された内容を確認いただきたい旨発言があった。

(5) 平成26年度利益相反マネジメント実施状況について

地域連携推進課長から、平成26年度利益相反マネジメント実施状況について、資料に基づき報告があった。

(6) 大学入試センター試験について

富永副学長から、大学入試センター試験について報告があり、教職員の協力への謝意が述べられ、あわせて2月25日・26日の一般入試（前期日程）、3月12日・13日の一般入試（後期日程）実施への協力要請があった。

(7) 平成27年度政府予算案及び平成26年度政府補正予算案について

西川副学長から、平成27年度政府予算案及び平成26年度政府補正予算案について、資料に基づき報告があった。

(8) 「URAキックオフシンポジウム」について

西田副学長から、2月10日に開催される「URAキックオフシンポジウム」について、資料に基づき案内があり、各部局等への周知依頼があった。

- (9) 大学改革に関する講演会「平成27年度国立大学関係予算及び第3期に向けた動きについて」の開催について  
学長から、2月9日に開催される大学改革に関する講演会について、資料に基づき案内があり、各部局等への周知依頼があった。
- (10) 大学コンソーシアム沖縄設立記念シンポジウム及び大学コンソーシアム沖縄・琉球大学医学部附属病院主催公開講座について  
大濱総合企画戦略部長から、12月23日に開催された大学コンソーシアム沖縄設立記念シンポジウム及び1月25日に開催された大学コンソーシアム沖縄・琉球大学医学部附属病院主催公開講座について、資料に基づき報告があり協力への謝辞があった。  
山崎評議員から、一般社団法人である大学コンソーシアムの運営に関わる業務を大学の事務職員が行うこと等について、法律に抵触しないかとの意見があり、監事等による確認を行うこととなった。
- (11) 平成27年度定例会議開催予定一覧について  
平良総務課長から、平成27年度定例会議開催予定一覧について、資料に基づき報告があった。
- (12) 全学防災訓練の実施について  
平良総務課長から、2月9日実施予定の全学防災訓練の実施について、平成26年度防災訓練実施計画に基づき実施方法及び注意事項等の報告があった。
- (13) その他
- ①臨時国大協総会について  
学長から、1月23日に開催された臨時の国大協総会について、報告があった。
- ②臨時教育研究評議会の開催について  
学長から、2月10日の企画経営戦略会議終了後に臨時の教育研究評議会を開催する旨報告があった。  
引き続き、西田副学長から、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」において求められている学生向け研究倫理教育の実施について、今後関係する委員会において依頼していく旨説明があった。
- ③大学入試センター試験の実施に係る勤務対応について  
山崎評議員から、1月17日、18日に実施されたセンター試験で従事した職員の勤務対応について確認があり、三浦総務部長から、従事した勤務状況に沿って手当相当額を支給する旨の発言があった。
- ④琉球大学ハラスメント防止対策に関する規程等の見直しに係る意見照会について  
渡邊人事課長から、ハラスメント防止対策に関する規程等の見直しについて1月13日開催の企画経営戦略会議において各部局等への意見照会を行った旨の説明があり、2月6日（金）までにご意見をいただきたい旨の依頼があった。

## 平成26年度第10回(臨時)教育研究評議会報

総務部総務課

日 時 平成27年2月10日(火) 15:20～17:10

### 審議事項

- (1) 学校教育法の改正に伴う教員人事に関する手続き等について
  - ① 琉球大学全学教員人事委員会規程の一部改正(案)について
  - ② 琉球大学教員人事学長諮問委員会規程の制定案について
  - ③ 国立大学法人琉球大学教員選考通則の制定案について
  - ④ 国立大学法人琉球大学教員選考基準の一部改正(案)について
  - ⑤ 国立大学法人琉球大学教員就業規程の一部改正(案)について

西田副学長から、資料に基づき学校教育法の改正に伴う教員人事に関する手続き等について、12月の教育研究評議会で示した原案に対する各学部等から寄せられた意見を踏まえた規則等の修正案について説明があり、審議の結果、修正案を改めて各学部等において検討し、その意見を踏まえ、2月24日開催の本評議会で決定することが確認された。

なお、高良倉成評議員から、採用等候補者の差戻しについて、収まりがつかない場合はどうするのかとの意見があり、西田副学長から、一連のプロセスにおいてしっかり協議していけば、問題は起こらないと考えている旨の発言があった。

また、小田切評議員から、琉球大学教員人事学長諮問委員会の設置について質問があり、西田副学長から、常置しておいて、学長の諮問事項を検討し、学長に答申を行うものである旨の発言があった。

さらに、波平評議員から、採用等候補者の差戻しについて、差戻しの要件としてより具体的なものを示しておく必要はないかとの意見があった。

- (2) 研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)への対応について
  - ① 琉球大学における研究活動不正、研究費不正に関する関係規程等の体系(案)
  - ② 琉球大学における公的研究費の不正防止等の基本方針について
  - ③ 琉球大学における公的研究費の不正使用防止のための管理・監査体制に関する規程について
  - ④ 琉球大学における公的研究費の不正に係る調査の手続き等に関する取扱規程について
  - ⑤ 競争的資金の管理・監査にかかる責任体系図について
  - ⑥ 国立大学法人琉球大学における公的研究費の使用に関する行動規範について
  - ⑦ コンプライアンス教育実施方策について
  - ⑧ 誓約書について

- (3) 研究活動における不正行為への対応等に関するガイドラインへの対応について
  - ① 琉球大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程の改正について
  - ② 研究活動上の不正行為の防止における責任体系図について
  - ③ 学生向け研究倫理教育実施方策について
  - ④ 教員向け研究倫理教育実施方策について

西田副学長から、本学における研究活動不正、研究費不正に関する関係規程等の体系について、資料に基づき説明があり、引き続き、船木研究推進課長から、各基本方針及び規程案等について、それぞれ資料に基づき、説明があった。

また、船木研究推進課長から、本件については各部局等から意見をいただき、それを踏まえて2月24日開催の教育研究評議会で改めて諮りたい旨発言があった。

山崎評議員から、文部科学省のガイドライン自体は法的な位置づけがなく、あくまで指針であるので、本学としては、最小限の対応ができないか等の意見があった。

西田副学長から、文部科学省のガイドラインに対して、他大学と比較した際に、本学だけあまりに対応を簡素化するのは難しいと思われるが、本件はまだ検討中であり、各学部からの意見をもとにブラッシュアップしていきたい旨発言があった。

また、山崎評議員から、労働契約を結んでいない研究者や学生等への対応について質問があり、西田副学長から、今後の検討事項としたい旨発言があった。

## 平成26年度第11回教育研究評議会報

総務部総務課

日 時 平成27年2月24日（火） 14:00～19:20

### 審議事項

(1) 平成27年度年度計画（案）について

西田副学長から、平成27年度年度計画（案）について、資料に基づき説明があった。  
引き続き、年度計画策定に当たっての今後のスケジュールとして、3月9日まで各部局からの意見を伺い、タスクフォースにて検討の上、企画経営戦略会議、経営協議会の意見を踏まえ、教育研究評議会及び役員会に諮った上で、3月末までに文部科学省へ提出する予定である旨の説明があった。

(2) 琉球大学教授会等通則の制定（案）について

(3) 琉球大学教授会等通則第3条第1項第3号の「学長が定めるもの」（案）について

平良総務課長から、琉球大学教授会等通則の制定（案）及び同第3条第1項第3号の「学長が定めるもの」（案）について、資料に基づき、それぞれ説明があった。

波平評議員及び高良富夫評議員から、通則第3条第2項の列举事項を第1項第3号とし、第2項本文中「次に掲げる」を削除する旨の提案があった。

また併せて、高良富夫評議員から、教員の懲戒に関して、教育研究関連は第1項3号事項と読み、教授会の意見を必須とし、それ以外の懲戒については、2項のその他という読み方で教授会に意見を聴くかを学長が判断してはという意見があった。

意見交換の結果、学長から、先述の意見を修正案とし、教員の懲戒に関しては、通則第3条第2項をもって運用する、という案が示され、修正案をもとに再度審議の上、今回をもって決定としたい旨の意向が示された。

松下評議員から、修正案を再文章化した上で確認したい旨の発言があり、これまでの議論を整理した修正案が提示された。

修正案の提示をうけて、再審議の結果、職員の懲戒に係る部分は、今後、職員懲戒等規程との整合性を十分に調整することとし、修正案のとおり了承された。

(4) 琉球大学部局長等選考規程の全部改正（案）について

平良総務課長等から、琉球大学部局長選考規程の全部改正（案）について、資料に基づき説明があった。

学長から、本件については、今回の審議及び学部等からの意見を参酌したうえで、3月の評議会にて決定したい旨発言があった。

(5) 学校教育法の改正に伴う教員人事に関する手続き等について

① 琉球大学全学教員人事委員会規程の一部改正（案）について

② 琉球大学教員人事学長諮問委員会規程の制定案について

③ 国立大学法人琉球大学教員選考通則の制定案について

④ 国立大学法人琉球大学教員選考基準の一部改正（案）について

⑤ 国立大学法人琉球大学教員就業規程の一部改正（案）について

西田副学長から、学校教育法の改正に伴う教員人事に関する手続き等について、これまでの審議経過及び各学部等からの意見への対応を含めそれぞれ資料に基づき、選考手続きや関係規程等の改正案等について説明があった。

高良富夫評議員から、各学部から寄せられた意見への対応について確認があり、西田副学長から、今回の学部等意見への対応（Q&A）は今後も参照資料として提示していく旨発言があった。

審議の結果、原案どおり了承された。

(6) 国立大学法人琉球大学職員懲戒等規程の制定等について

- ①国立大学法人琉球大学職員就業規則の一部改正（案）について
- ②国立大学法人琉球大学非常勤職員就業規則の一部改正（案）について
- ③国立大学法人琉球大学職員懲戒等規程の制定（案）について
- ④国立大学法人琉球大学職員懲戒処分の指針の制定（案）について

吉崎懲戒規程見直しワーキング・グループ委員会委員長から、国立大学法人琉球大学職員懲戒等規程の制定等について、それぞれ、各学部からの意見への対応を中心に、資料に基づき説明があった。

波平評議員から、従来、教授会の審議を経ていた職員の懲戒手続きを、常設の懲戒委員会のみで判断するというのはいささか乱暴ではないかとの意見があり、西田副学長から、事案により各部局において調査が進められることとなるので、特定の構成員による手続きや懲戒委員会の独断等はないと考えている旨発言があった。次いで、宮尾ワーキング・グループ委員会委員から、部局長が責任をもって調査し、調査結果を十分に加味して審議は進むので、学長が勝手に調査委員会へ付議するということは現実的でないだろうと考えている、また、事実認定の段階では少人数体制の方が良いとも考えられる旨説明があった。

松下評議員から、職員の懲戒について、教授会の構成員が利害関係者の集まりであることや、ハラスメント等の内容が多くの方（教授会構成員等）に認知されることを考慮すると、必ず教授会を通すことには疑問があり、事案の必要性に応じて、学長の判断により教授会へ諮れば良いのではないかと発言があった。

浜崎評議員から、教授会や教育研究評議会から学長へ審議を提案することができるよう明文化すべきではないかとの意見があり、学長から、学長の求めがなくても教授会が意見を述べることは保障されている旨発言があった。

山崎評議員から、懲戒処分の指針における懲戒基準の標準例がわかりにくい、特に兼業による収入の上限等について熟考をお願いしたい旨発言があった。

学長から、本件については、今回の審議、各学部への意見照会を踏まえ、3月の評議会で決定したい旨発言があった。

(7) 国立大学法人琉球大学ハラスメント防止対策に関する規程等の見直しについて

- ① 国立大学法人琉球大学ハラスメント防止対策に関する規則の制定（案）について
- ② 国立大学法人琉球大学ハラスメント防止対策委員会規程の制定（案）について
- ③ 国立大学法人琉球大学ハラスメント調査委員会に関する規程の制定（案）について
- ④ 国立大学法人琉球大学ハラスメント専門相談員取扱要項の制定（案）について
- ⑤ 琉球大学学則の一部改正（案）について

矢野ハラスメント関係規程検討ワーキンググループ委員会委員長から、国立大学法人琉球大学ハラスメント防止対策に関する規程等の見直しについて、それぞれ、各学部からの意見への対応を中心に、資料に基づき説明があった。

引き続き、学長から、本件については、3月13日までに各学部等から意見を伺い、検討を継続し、3月の評議会で改めて審議したい旨発言があった。

山崎評議員から、相談員の配置について確認があり、学長から、予算上の面も考慮しつつ非常勤を含め早急に配置できるよう検討したい旨発言があった。

高良富夫評議員から、役員に係るハラスメントの取扱いについて質疑があり、西田副学長から、国立大学法人法を踏まえ、役員倫理規程等の制定に向けて検討を進めている旨発言があった。

また、小田切評議員から、役員からハラスメントを受けた場合について質疑があり、宮尾ハラスメント関係規程検討ワーキンググループ委員会委員から、制定予定の役員倫理規定等は、職員就業規則を準用する形式となると思われるため、相談支援センターに來た人を拒むことはないと考えている旨発言があった。

(3) 琉球大学におけるダイバーシティの推進について

- ① ダイバーシティ推進宣言及び基本方針について
- ② ダイバーシティ推進本部規則（案）の制定について

喜納男女共同参画室長から、琉球大学におけるダイバーシティの推進について、それぞれ資料に基づき説明があった。

高良富夫評議員及び山崎評議員から、組織体制について確認があり、喜納室長から、新設・既存の室同士が連携した事務サイドと教員との共同運営を想定しており、3月までに体制整備を進めたい旨発言があった。

学長から、3月9日までに各学部から意見を伺い、検討を継続し、3月の評議会で改めて審議したい旨提案があり、継続審議となった。

(9) 研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）への対応について

- ① 琉球大学における研究活動不正、研究費不正に関する関係規程等の体系（案）
- ② 琉球大学における公的研究費の不正防止等の基本方針について
- ③ 琉球大学における公的研究費の不正使用防止のための管理・監査体制に関する規程について
- ④ 琉球大学における公的研究費の不正に係る調査の手続き等に関する取扱規程について
- ⑤ 競争的資金の管理・監査にかかる責任体系図について
- ⑥ 国立大学法人琉球大学における公的研究費の使用に関する行動規範について
- ⑦ 研究費公正執行教育実施方策について
- ⑧ 誓約書について

(10) 研究活動における不正行為への対応等に関するガイドラインへの対応について

- ① 琉球大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程の改正について
- ② 研究活動上の不正行為の防止における責任体系図について
- ③ 学生向け研究倫理教育実施方策について
- ④ 教員向け研究倫理教育実施方策について

西田副学長から、本学における研究活動不正、研究費不正に関する関係規程等の体系について、資料に基づき説明があり、引き続き、船木研究推進課長から、各基本方針及び規程案等について、それぞれ資料に基づき、説明があった。

また、船木研究推進課長から、「琉球大学における公的研究費の不正に係る調査の手続き等に関する取扱規程」及び「琉球大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程」については、各部局等から再度意見をいただき、それを踏まえて3月24日開催の教育研究評議会に改めて諮りたいが、それ以外の事項については、前回の評議会後の意見等を踏まえた本資料を改めて提案する旨説明があり、審議の結果、これを了承した。

福島評議員から研究倫理教育の教材について、川本評議員から誓約書の文言について確認があり、西田副学長から検討したい旨発言があった。

(11) 平成27年度内地研究員候補者の推薦について

西田副学長から、内地研究員候補者について資料に基づき説明があり、内地研究員審査の結果に基づき、熱帯生物圏研究センター准教授を候補者として決定したい旨発言があった。

審議の結果、当該教員が派遣中の講義の担当について、関係学部との調整が不十分であることから、継続審議となった。

(12) 教員の休職について

人事課長から、教員の休職について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

## 報告事項

- (1) 平成26年度第11回企画経営戦略会議について  
学長から、平成26年度第11回企画経営戦略会議の協議結果について、報告があった。
- (2) 全学教員人事委員会の審議結果について  
西田副学長から、第149回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。
- (3) 学長リーダーシッププロジェクト研究について  
西田副学長から、学長リーダーシッププロジェクト研究について、資料に基づき報告があった。
- (4) 平成27年度一般入試の志願者数等について  
富永副学長から、平成27年度一般入試の入学志願者数等について、資料に基づき報告があり、併せて2月25日、26日の一般入試（前期日程）実施への協力要請があった。
- (5) 平成27年度新入生オリエンテーションについて  
学生課長から、平成27年度新入生オリエンテーションについて、資料に基づき報告があった。
- (6) 学生援護会寄附状況（12月期）について  
富永副学長から、学生援護会への寄附状況について、資料に基づき報告があり、寄附への謝意が述べられた。
- (7) 学生サミット2015について  
下地地域連携推進課長から、学生サミット2015について、資料に基づき報告があった。  
金谷評議員から、サミット開催中のメディカルサポートについて確認があり、附属病院へ協力を要請した方がよい旨の提案があった。
- (8) 全学防災訓練について  
平良総務課長から、2月9日に実施された全学防災訓練について、資料に基づき報告があり、参加部局への謝意が述べられた。
- (9) その他
  - ①工学部からの医学部附属病院の運営状況に関する照会文について  
学長から、2月3日付けで工学部長から医学部附属病院の運営状況についての照会があった旨発言があり、引き続き、須加原副学長から、照会事項への回答があった。

## 平成26年度第12回教育研究評議会報

総務部総務課

日 時 平成27年3月24日（火） 14:00～20:45

＊ 審議に入る前に、酒井熱帯生物圏研究センター長から、前回教育研究評議会で継続審議となった「内地研究員候補者の推薦について」は、候補者の都合により、推薦の必要がなくなったため、提案を取り下げる旨の発言があった。

### 審議事項

(1) 第3期中期目標・中期計画（案）について

西田副学長から、第3期中期目標・中期計画（案）について、資料に基づき説明があり、各部局等から意見をいただきたい旨発言があった。

引き続き、学長から、本件については継続審議とし、6月末に素案を文部科学省に提出する予定である旨説明があった。

(2) 平成27年度年度計画（案）について

西田副学長から、平成27年度年度計画（案）について、資料に基づき説明があった。

引き続き、年度計画策定に当たっての今後のスケジュールとして、3月30日の臨時役員会に諮った上で、3月末までに文部科学省へ提出する予定である旨説明があった。

(3) 教職大学院の設置について

西田副学長から、教職大学院の設置について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(4) 琉球大学学則の一部改正（案）について

平良総務課長及び平良教務課長から、琉球大学学則の一部改正（案）について、資料に基づき説明があった。

審議の結果、原案どおり了承された。

(5) 琉球大学大学院学則の一部改正（案）について

平良総務課長から、琉球大学大学院学則の一部改正（案）について、資料に基づき説明があった。

審議の結果、原案どおり了承された。

(6) 琉球大学部局長等選考規程の全部改正（案）について

平良総務課長から、琉球大学部局長等選考規程の全部改正（案）について、資料に基づき説明があった。

高良富夫評議員から、第5条第6項の「学部改組等」の文言を削除せず、「学部新設等」に修正するべきとの意見があり、平良総務課長から、提案どおり修正する旨発言があった。

小田切評議員から、第5条第3項の候補者推薦の「原則として」という文言の意味合いについて、各部局での求心力が問われるのだから、その人数や選考方法等学部の特性を尊重した上での推薦であることを考慮いただきたい旨意見があった。

審議の結果、一部修正の上了承された。

(7) 琉球大学に置く講座等に関する規則の一部改正（案）について

西田副学長から、琉球大学に置く講座等に関する規則の一部改正（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(8) 国立大学法人琉球大学職員懲戒等規程の制定等について

- ①国立大学法人琉球大学職員就業規則の一部改正（案）について
- ②国立大学法人琉球大学非常勤職員就業規則の一部改正（案）について
- ③国立大学法人琉球大学職員懲戒等規程の制定（案）について
- ④国立大学法人琉球大学職員懲戒処分の指針の制定（案）について

吉崎懲戒規程見直しワーキング・グループ委員会委員長から、国立大学法人琉球大学職員懲戒等規程の制定等について、それぞれ、各学部からの意見への対応を中心に、資料に基づき説明があり、特に、教授会の位置づけについてはこれまでと同様、教授会を経ることがほとんどだと思われ、教授会を経ない場合でも、各学部等は意見を述べる事ができる旨説明があった。

なお、渡名喜評議員から、議題12で審議予定の「琉球大学における公的研究費の不正使用等に係る調査の手続き等に関する取扱規程」の条文との整合性について指摘があり、吉崎委員長から、本日の審議内容に合わせ、必要な修正を行う旨発言があった。

また、波平評議員から、職員組合との交渉を踏まえた規程の制定等を行うべきである旨発言があり、宮尾委員会委員から、本件は役員会・大学本部の審議を経て提案しており、また、この改正・制定案に賛成している部局もあることを考慮いただきたい旨発言があった。

さらに、山崎評議員から、現行規程では拡大解釈されやすく、改正案の方が多くのケースをカバーできる。運用は大変だと思うが、可能な限り早急に決定し、必要な改正は、今後の本評議会でブラッシュアップしていく方が良いとの発言があった。

同じく、福島保健学研究科長から、現行規程では難しい面が多く、保健学研究科としてはこの改正案に賛成している旨発言があった。

志村評議員から、教育研究評議会のチェック機能について質問があり、学長から、評議会から意見を述べることを否定しているものではない旨発言があった。

意見交換の結果、松本評議員から、修正案を再提示の上、審議したらどうかとの提案があり、議論を整理した修正案が改めて提示された。

修正案の提示をうけて、再審議の結果、修正案（審査開始の報告及び附議への意見尊重を追記）のとおり了承された。

(9) 国立大学法人琉球大学ハラスメント防止対策に関する規程等の見直しについて

- ① 国立大学法人琉球大学ハラスメント防止対策に関する規則の制定（案）について
- ② 国立大学法人琉球大学ハラスメント防止対策委員会規程の制定（案）について
- ③ 国立大学法人琉球大学ハラスメント調査委員会に関する規程の制定（案）について
- ④ 国立大学法人琉球大学ハラスメント専門相談員取扱要項の制定（案）について

矢野ハラスメント関係規程検討ワーキンググループ委員会委員長から、国立大学法人琉球大学ハラスメント防止対策に関する規程等の見直しについて、それぞれ、各学部からの意見への対応を中心に、資料に基づき説明があった。

波平評議員から、ハラスメント専門相談員の体制について質問があり、矢野委員長から、相談員は非常勤2名体制で、常時対応できるよう配置し、また、各部局選出の室員に、業務の負担を考慮しながら協力いただく旨説明があった。

学長から、体制が不十分な点については今後とも検討をつづけていきたいが、特に異議がなければ、今回の制定案をもって可決としたい旨提案があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(10) 琉球大学におけるダイバーシティの推進について

- ① ダイバーシティ推進宣言及び基本方針について
- ② ダイバーシティ推進本部規則（案）の制定について

喜納男女共同参画室長から、琉球大学におけるダイバーシティの推進について、それぞれ、各学部からの意見への対応を中心に、資料に基づき説明があった。

波平評議員から、本部規則案第2条の「信条」という文言について意見があった。

審議の結果、ダイバーシティ推進本部規則第2条から「信条」の文言を削除することで原案どおり了承された。

- (11) 琉球大学の保有する個人情報の適切な管理のための措置に関する規則及び国立大学法人琉球大学情報システム運用・管理規程の一部改正（案）について

平良総務課長から、琉球大学の保有する個人情報の適切な管理のための措置に関する規則及び国立大学法人琉球大学情報システム運用・管理規程の一部改正（案）について、それぞれ資料に基づき、説明があった。

審議の結果、原案どおり了承された。

- (12) 研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）への対応について

- (13) 研究活動における不正行為への対応等に関するガイドラインへの対応について

西田副学長から、本学における研究費不正、研究活動不正に関する関係規程等の体系について、資料に基づき説明があり、引き続き、船木研究推進課長から、各基本方針及び規程案等について、それぞれ、各部局等からの意見への対応を中心に、資料に基づき説明があった。

山崎評議員から、規程等の運用に際して、研究費公正執行責任者の責務について検討いただきたい旨発言があった。

西田副学長から、まずは現在の案で進めるが、今後、全学的なWG等で運用についても検討していきたい旨発言があった。

審議の結果、原案どおり了承された。

- (14) 琉球大学工学部とラジシャヒ工科大学（バングラデシュ）との部局間交流協定等の締結について

安倍国際連携推進課長から、琉球大学工学部とラジシャヒ工科大学（バングラデシュ）との部局間交流協定等の締結について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

- (15) 名誉教授候補者の選考について

名誉教授候補者退席の上、人事課長から、各学部から推薦のあった14名の名誉教授称号授与候補者の選考について、「琉球大学名誉教授称号授与規程」及び「琉球大学名誉教授授与規程に関する申合せ事項」に基づき適用条項の説明があった。引き続き、各部局長等から、名誉教授候補者の功績等について説明があり、その後、称号授与の可否について投票が行われ、投票の結果、推薦のあった14名全員に名誉教授の称号を授与することが決定された。

- (16) 経営協議会委員の任命について

学長から、経営協議会委員（第4号委員）の任命について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

## 報告事項

- (1) 平成26年度第12回企画経営戦略会議について

学長から、平成26年度第12回企画経営戦略会議の協議結果について、報告があった。

- (2) 全学教員人事委員会の審議結果について

西田副学長から、第150回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

- (3) 教育研究組織の評価単位の決定について

石原副学長から、教育研究組織の評価単位の決定について、資料に基づき報告があった。

- (4) 平成27年度年度計画予算について  
西川副学長から、平成27年度年度計画予算について、資料に基づき報告があった。
- (5) 平成26年度学内補正予算について  
西川副学長から、平成26年度学内補正予算について、資料に基づき報告があった。
- (6) 国立大学法人琉球大学における公的研究費の不正防止計画について  
西田副学長から、国立大学法人琉球大学における公的研究費の不正防止計画について、資料に基づき報告があり、来年度更に見直しを図る旨発言があった。
- (7) 国立大学法人琉球大学における換金性の高い物品の取扱いについて  
西川副学長から、国立大学法人琉球大学における換金性の高い物品の取扱いについて、資料に基づき報告があった。
- (8) 琉球大学亜熱帯島嶼科学拠点研究棟使用規程の一部改正について  
西田副学長から、琉球大学亜熱帯島嶼科学拠点研究棟使用規程の一部改正について、資料に基づき報告があった。
- (9) 一般入試の状況等について  
富永副学長から、一般入試の実施状況等について報告があり、教職員の協力への謝意が述べられた。
- (10) 沖縄産学官協働人財育成円卓会議について  
大濱総合企画戦略部長から、3月23日に開催された沖縄産学官協働人財育成円卓会議について報告があった。
- (11) 新部局長等について  
学長から、新部局長等について、資料に基づき報告があった。
- (12) 新役員及び副学長について  
学長から、新役員及び副学長について、資料に基づき報告があった。
- (13) 資料館（風樹館）の名称変更について  
平良総務課長から、資料館（風樹館）の名称変更について、資料に基づき報告があった。
- (14) 経営協議会の審議結果について  
学長から、3月14日に開催された経営協議会の審議結果について、資料に基づき報告があった。
- (15) その他
  - ①平成27年度頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム説明会について  
西田副学長から、4月1日に開催する平成27年度頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム説明会について案内があった。
  - ②運営費交付金の在り方検討会の中間まとめ（案）について  
西川副学長から、3月13日に開催された第三期中期目標期間における運営費交付金の在り方検討会において、配分方法等の中間まとめ（案）が示されたので、学内ホームページへ掲載した旨報告があった。
  - ③大学コンソーシアムの運営に関わる業務について  
学長から、1月の評議会で、一般社団法人である大学コンソーシアムの運営に関わる業務を本学の事務職員が行うことは法律に抵触しないかとの意見があったことについて、教育研究の成果を社会に還元することは大学の業務の一環であり、役員会でも県内大学等11機関で成り立つコンソーシアムに協力することは承認しており、大学として参加することは違法行為ではないと考えている旨発言があった。

引き続き、北原監事から、コンソーシアムの代表から業務委託を受けて、学長から業務命令として本学の職員が仕事をしているのであれば、法的には問題はないと顧問弁護士からも回答があった旨発言があった。また今後は大学における地域貢献活動が多くなることから、手続き等についての整備等を考慮するようにとの意見が述べられた。

④ 会議の機能・在り方について

北原監事から、会議の機能・在り方について、時間、内容等を検討するようにとの発言があった。

⑤ 事務系幹部職員の人事異動及び退職等の紹介について

西川副学長から、3月31日付けの定年退職者及び4月1日付けで他の機関に異動する事務系幹部職員について紹介があった。

⑥ 任期終了等に伴う委員の紹介

学長から、3月31日付けで定年退職及び任期満了となる評議員の紹介があり、各委員から退任のあいさつがあった。

⑦ 異動・退任副学長のあいさつについて

学長から、3月31日付けで異動及び任期満了となる副学長の紹介があり、各副学長から退任のあいさつがあった。